

〔日本書紀神代〕一書曰略。故伊弉册尊恥恨之曰。汝已見我情。我復見汝情。

〔段注說文解字心十下〕情。人之含氣。有欲者。曰。何謂人情。喜怒哀懼愛惡欲。七者。謂情。情非制度不節。禮記曰。性。生於陽。以理執。情生於陰。以繫念。从心。青聲。疾盈切。

〔藻鹽草十六〕情

人の情　ことの葉の情　情なき　情ある　情の色　露の情　ちゝの情　情をかくる　なげの情すこしの情也。なをざりの情也。又云。ななきなきと也。　情のほど　情の山名所也。そへたる也。　みやひ情　うはへ

〔書言字考節用集八〕人情董仲舒云。人

〔日本書紀雄略四〕五年二月。舍人性懦弱。緣樹失色。五情無主。

〔書言字考節用集十〕七情喜怒哀懼愛惡欲

〔秦山集雜著〕情訓七裂也。此視吾吉川之傳。

〔倭訓栞前編十九〕なさけ　情をいふ。眞名伊勢物語に見ゆ。中裂の義。中心のさけ出るをいふ。よて心根ともよむ。情實也。伊勢物語に心なさけと見えたり。此國にはわけてなさけといふ事を貴べりといへり。なさけある人。なさけをくむなどの詞味ふべし。

〔倭訓栞中編二十一〕ひとのなさけ　人情をいへり。菅家御集にみゆ。

〔三徳抄上〕四端出於理。七情出於氣。ト云事アリ。四端トハ仁義禮智ノアラハル、處ヲ云也。七情トハ喜怒哀懼愛思欲ヲイフ也。人ノ心ハ只道理マデニテアルユヘニ。七情出來スル也。七情ニハ善ト惡トアリ。四端ニハ善バカリニシテ惡ナシ。此七情ヲ道理ノマ、ニスレバ。仁義ニカナヒテヨケレドモ。血氣ノ私ニヒカサル、トキハ。七情ホシイマ、ニナリテ。理ニソムキテ喜ブ故ニ。ヨク分別シテ。七情ヲ理ニカナヘテナセバ。イヅレモ。アシキコトナシ。理バカリニテハ。ウゴキハタラ